


研究区分	教員特別研究推進 地域振興
------	---------------

研究テーマ	お茶を活用したガストロノミーツーリズムによる茶産業に関連するコミュニティの活性化～静岡市の茶町と清水港周辺につながるインバウンド観光コンテンツの創造～				
研究組織	代表者	所属・職名	経営情報学部・准教授	氏名	カウクルアムアン・アムナー
	研究分担者	所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
		所属・職名		氏名	
	発表者	所属・職名	経営情報学部・准教授	氏名	カウクルアムアン・アムナー

<b>講演題目</b>	
日本茶輸出の歴史とガストロノミーツーリズムを通じてインバウンド観光コンテンツを創造する	
<b>研究の目的、成果及び今後の展望</b>	
<p>本研究は、茶産業に関連する地域として静岡市茶町と静岡市清水港の周辺コミュニティを結び付けた。茶町は静岡のお茶産業の中心地で、その昔、清水港からお茶を輸出していた。本研究はガストロノミー（美食）とティーツーリズム（茶観光）を通じて、静岡市茶町及び静岡市清水港周辺コミュニティを融合させたインバウンド観光コンテンツを創造することを目的とした。</p> <p>本研究では、日本最大の茶産地である静岡からの日本茶輸出の歴史的背景を概観した。研究対象地域は、茶輸送のための伝統的な鉄道で結ばれて、静岡の茶貿易コミュニティである茶町と清水港であった。収集したデータは、茶の輸出関連資料、茶店のインタビュー、フェルケール美術館や清水の茶店に展示されている輸出茶箱の茶ラベル、茶町の観光情報、関連文献などであった。お茶の輸出に関する歴史的な内容を活かし、衰退しつつある茶町・清水のお茶産業の活性化を図るため、英文の美食茶観光ガイドブックを作成した（図1）。このガイドブックは4つの部分で構成されている（1. Eat &amp; Drink 2. Sight &amp; View 3. Do &amp; Learn 4. Shop &amp; Share）。第一章では、料理とお茶を提供する個性豊かなレストランやカフェを厳選してご紹介した。第二章では、寺社仏閣、自然史跡など、地域の特色ある観光スポットを紹介した。第三章では、製茶会社でのお茶の試飲や博物館でのお茶の輸出関連の歴史など、美食とお茶に関する学習体験を提供する場所の情報を提供した。第四章は、観光客がお茶やその他の地元の製品を購入し、関連する体験をソーシャルメディアで共有できる店舗の情報であった。ガイドブックには、美食と茶観光を促進するために作られたお茶のマスコット、ガストちゃんが案内する小さなコラムとして、お茶の取引の歴史がガイドブックに挿入された。今後は日本版を作成し、静岡市を訪問する観光客を増やすことを期待する。</p>	
	
<p>図1 茶町と清水港を繋がる英文の美食茶観光ガイドブック</p>	